

群馬県立前橋高等学校 学校評価一覧表② (令和4年度版)

(様式2)

No. 1

評価対象	評価項目	具体的数値項目	達成度			改善状況のまとめ	学校関係者評価	次年度の課題	
			①	②	総合				
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	① 自分の学校が好きだと感じている生徒の割合は90%以上である。	A	A	A	コロナ禍が継続し、まだ学校行事に幾分制限があるが、できる限りこれまでと近い形で実施することができた。	<ul style="list-style-type: none"> ①部活動や生徒会活動は課外活動ですので、高校としては学習活動に集中してはいいかがですか。 ②3年生の前高での学びに関する語りの内容と話す様子から、学校への満足度が確認できたことは高い評価に値する。 ③引き継ぎ生徒のための活動をお願いします。 ④7月→今回で探究力の向上に役立ったという意見が僅かながら低下しています。この理由は何でしょうか。 ⑤低下傾向は上の項目よりも顕著です。 ⑥oxbridge自体のアンケートがないので、どれ位のインパクトがあるのかは評価できません。 ⑦コロナ禍の状況を鑑み、活動の充実を図ってほしい。 ⑧ようやく外国人留学生も入国を再開したので、いろいろな国の話を、その国の言葉で聞く機会があると楽しいと思う。 	本校の教育方針である「学習」「部活動」「行事」の充実を図る中で、生徒の満足度を高めたい。 今年度の活動の反省を次年度の学年にしっかりと引き継ぎ、生徒たちにとってより充実した探究活動が進められるようサポート体制を整えていきたい。 探究活動やイノベータとしての資質・能力の向上に繋がる講演会を企画し、生徒たちを成長させていきたい。 コロナの影響も納まりつつあり、グローバル教育が一層進もう、できる限り外部と関わる活動を企画、紹介し参加を促していきたい。	
		② 「探究基礎」(1年)、「科学探究Ⅰ」「探究総合」(2年)、「科学探究Ⅱ」(3年)における活動を通じて自らテーマをみつけ、解決していく探究力が身についたと感じる生徒が80%以上である。	A	A	A	昨年度までの活動を踏まえ、中間発表の回数を増やすことができ、成果発表会では、外部指導者に加え保護者や他校教員にも参加していただき、探究力の向上に繋げることができた。			
		③ 「イノベータ講演会」が探究活動の充実や活動意欲の向上に役立っていると感じる生徒が80%以上である。	A	A	A	外部講師からの貴重な講演による知見を広げる活動にとどまらず、意識的に質問力育成する活動としても生かしている。			
		④ Oxbridge研修やその報告会およびその他のグローバル教育に関する活動を通じて、グローバル社会での生き方や異文化に対する理解が進んだ生徒が80%以上である。(1・2年のみ)	B	B	B	Oxbridge研修は今年度も実施できず、代替行事も様々な事情から実施できなかった。Youth Leader Programについては、少人数ながら参加することとなった。			
II 生徒の意欲的な学習活動について、適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	① 工夫された授業が展開されており、授業に80%以上の生徒が満足している。	A	A	A	授業アンケートがフィードバックされ、改善を進めてきた。	<ul style="list-style-type: none"> ①ICTについては更なる活用ができるように検討をしてもらいたい。 ②生徒の学習レベルの差が大きいと見受けられる授業に関しては、習熟度別授業は推進するべきだと思う。 	配付されているクロームブックの効果的な活用を図るなど、授業改善を組織的に推進していく。 小集団の特性に合った授業内容・指導方法をさらに検討していく。	
		② 英語や数学などの教科で行っている少人数授業や習熟度別授業に90%以上の生徒が満足している。	A	A	A	クラス編成を工夫し、有効に活用できるよう考慮した。			
	3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	① 生徒自ら考え、発表するなど、主体的な活動を行う生徒が80%以上である。	B	B	B	ICEルーブリック評価を取り入れた授業を学校全体で推進するとともに、生徒の主体性を生かした授業を行うことを目標とした。	<ul style="list-style-type: none"> ①主体的な活動を生徒にさせることは一朝一夕にはできない。自らの立場を振り返り、中学校段階から主体性を育む教育を充実させたい。 ②大学入学後も受け身の学生がまだまだ多い印象です。 ③一部の生徒に偏らないように注意していただきたい。 ④どれくらいの教員がICEルーブリックを使っているのでしょうか。 ⑤主知的に探究する態度を育むことは、変化の激しい社会を生き抜いていくうえで欠かせない資質だと思う。 ⑥土曜日まで高校が関与すべきでしょうか。 ⑦グローバル化が一層進む社会で英語力を付けることは国際的に活躍する人材を育成するうえで重要だと思う。学校生活における授業以外の場面においてもALTを積極的に活用してはどうか。 ⑧英語教科以外の授業を、英語で行っては如何でしょうか。(日本語で行った授業を、英語でもう一度行うとか…) ⑨大変良い試みと思いますが、全員が受講しているのでしょうか。 	主体的な活動を授業内で生徒に行わせる取組を今後も継続して進めたい。 自分の授業もあるが、可能な限り研究授業を見学できるような方策を考えたい。また、授業改善に資するツールなどの研修も行う。 生徒たちが、より興味をもてるような講演会を企画し、積極的な参加をうながす。探究活動の時間としての活用も継続させる。 授業におけるコミュニケーション活動の機会を意図的に設けてもらい、常態化できるよう進めていく。 引き続きICE評価を取り入れた授業を行ってもらい、100段階評価にも組み込んでいけるよう集約していきたい。	
		② 生徒が主体的に授業に取り組めるような授業改善のための研修会を各学年で年に2回以上と教科でも実施している。	B	A	B	クロスカリキュラムを含めた各研究授業が数回職員に公開される形で行われた。			
		③ 「土曜AL」の活動に参加し、主体的な学習に取り組もうとした生徒が70%以上である。(1・2年のみ)	B	B	B	企画した講演会によっては、参加希望者が少ない講座も見られたが、後半では探究活動するための時間としての活用できていた。			
		④ 英語等によるコミュニケーション能力が向上していると感じる生徒が80%以上である。	B	B	B	これまでの活動は継続しつつも、大きな改善には繋げることができなかった。			
		⑤ 各教科・科目で「探究的な学び」を取り入れた授業を行い、学習内容がより深く理解できたと感じる生徒が80%以上である。	A	A	A	今年度はSSを付する教科・科目以外の授業でもICEルーブリック評価を取り入れた授業を行うことができた。			
	4 基礎・基本の定着を図る指導が充実していますか。	① 平均家庭学習時間を1・2年で3.0時間、3年で4.5時間以上確保して、予習と復習に努めている。	B	B	B	経年で多少の増減もあるが、おしなべて目標の学習時間には少し足りない傾向にある。	<ul style="list-style-type: none"> ①質の高い学習を確保するためには、それに適した学習量が必要になると考えます。中学校段階から家庭学習をするのが当たり前という習慣付けを図りたい。 ②家庭の協力を得られるように情報発信などの機会を増やす検討をしてほしい。 ③蛟龍館の環境を充実させ活用を促してほしい。 	特に3年生は受験に向けて時期に応じた学習内容の意識を共有したい。 学習環境の提供についてより安定的な運営の方法を模索したい。	
		② 学校内での朝学習や放課後の自習室利用など、校内での主体的な学習に取り組む生徒が70%以上である。	A	A	A	コロナ禍での制約が少しずつ緩和され、本来の取組状況に戻つつある。特に考査前には積極的な学習が見られる。			
	III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	5 組織的・継続的な指導を行っていますか。	① 学年会議・生徒指導部会議・教育相談係会議において、生徒に関する情報交換を月に2回以上行っている。	A	A	A	学年と生徒指導部とが密接に連携し特活部等からの情報も共有しながら、生徒の理解を深め、早期の対応を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ①長期欠席への対応は義務校でも頭を悩ませている事案の一つです。中学校段階から不登校傾向が見られる生徒への丁寧な対応を心がけたい。 ②大学でも問題になっています。 ③コロナの影響もあると思いますが、規則正しく登校させるといった基本をしっかりと伝えていってほしい。 	教育相談係会議において各学年からの生徒情報やスクールカウンセラーとの情報交換により組織的な対応を行うことができた。 遅刻指導を学年と協力し学校全体で声かけ指導を行っていく。遅刻においては改善傾向が見られる。 学校評価アンケートでは90%の生徒保護者から評価されている。マナーアップ等の活動を通して活気ある学校づくりを行う。
		6 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	① 遅刻をする生徒が、全校平均で1日あたり10名以下である。また、欠席率は1%以内(3年生は2%以内)である。	A	A	A	学年や担任を通して家庭との連携を図りながら、自律的な生活習慣を導いていく。		
			② 学校全体で、挨拶運動や規律遵守に取り組んでいる。	A	A	A	学年や特活部と連携し、生徒職員が一体となって、自主的・自律的精神に基づいた活気のある学校作りを行う。		
7 生徒が自主的に活発な活動をしていますか。		① 部活動に実人数で95%以上の生徒が加入している。また、関東大会以上に出場の部活動5つ以上を目指す。	A	B	B	部活動を体験したり、見学する機会を多く設けることで、部活動への興味関心を高め、加入の動機付けとした。	<ul style="list-style-type: none"> ①部活動に加入する生徒の減少が危惧されるので、部活動加入の意義を新入生などに伝える機会を更に増やしてほしい。 ②部全体で「部活も勉強も!」という意識を持ち続けることが大切だと思う。 ③行事は生徒の主体性を伸ばす良い機会であると思うので、コロナの状況を鑑みながらですが、積極的に行ってほしい。 		
	② 部活動が生徒の主体性を生かし、メリハリのある活動の中で充実していると感じる生徒が90%以上である。	A	A	A	部全体で情報共有をして、目標を達成するための方策を検討していくことで、主体性を引き出した。				
	③ 部活動に取り組む生徒のうち、文武両道を実践していると感じる生徒が70%以上である。	A	A	A	週2日以上の日を設けるなど活動時間を制限し、学習時間を確保する。				
	④ 定期戦及び優曇華をはじめとした学校行事の内容の充実を図り、自主的・主体的に取り組めた生徒が80%以上である。	A	A	A	コロナ禍の学校行事のため、対外的にも校内のにもより安全・安心な運営ができるように工夫した。				

群馬県立前橋高等学校 学校評価一覧表② (令和4年度版)

(様式2)

No. 2

羅 針 盤			達 成 度			改 善 状 況 の ま と め	学 校 関 係 者 評 価	次 年 度 の 課 題	
評 価 対 象	評 価 項 目	具 体 的 数 値 項 目	①	②	総 合				
	8 生徒主体のいじめ防止活動に積極的に取り組んでいますか。	① 本校の「スマホ利用ルール」を理解し、それに従った生活ができている生徒が80%以上である。	B	B	B	ホームルームや学年集会、講話等の機会を捉え、指導を徹底する。	<ul style="list-style-type: none"> ①ルールを理解させ、守らせることは重要。中学校段階からスマホの利便性は危険性を孕んでいることを指導したい。 ①スマホ依存に近い生徒への対策が必要になるのでは？ ②いじめは、学校の中だけで起こるわけではなく、むしろ学校の外で起こることが少なからずある。保護者も巻き込んで対応するために、学校の取組を家庭に発信してほしい。 	「スマホ利用ルール」を理解している生徒は、80%であった。今後風紀委員会を通して自主的な取り組みを促す。	
		② 学校は、いじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っていると考えている生徒が90%以上である。	A	A	A	人権教育やいじめ防止への啓発活動に加え、いじめに関するアンケートを各学期に行い、実態把握から対応まで計画的・組織的に行う。			いじめ防止に関する班別協議活動を各HRで行うことができた。また、いじめに関する職員研修を行い、組織的な対応に向けた取組を行った。
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	9 読書指導が行われていますか。	① 学校図書館の貸出冊数が7,000冊を超えている。	B	B	B	図書館講演会や出張貸し出し、フェアの開催、図書館前の展示など工夫ができた。また「適書150選」を発行した。	<ul style="list-style-type: none"> ①読書量を増やすことによって知識を豊かにしたり心を耕したりすることができると思う。中学校段階から読書する習慣を付けていけるようにしたい。 ①本離れが今後更に進むと思われるので、新たな取り組みを検討する必要がある。 ①本が好きな生徒は、たくさん読んでいる印象。図書館で借りずに電子書籍で読む子も多いかもしれない。 ①アンケートでも評価が低い。工夫した取り組みが望まれる。 	生徒のニーズと前高図書館が発信したい書籍が必ずしも一致しない。バランスが重要。	
		② 進路に関するLHRを各学年で年に10回以上実施し、80%以上の生徒が進路選択の参考になると認識している。	A	A	A	参考になる、やや参考になると答える生徒の合計は9割を超えている。			今年度の経験を活かして適切な時期に興味関心の高まる指導となるよう洗練していきたい。
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	10 計画的な指導を行っていますか。	② 「前高ジャーナル」、「進路概況」や「進学の手引」を、80%以上の生徒が役に立つと認識している。	A	A	A	進学の手引きについて役に立つと思う、やや思うの合計は95%を超えている。	<ul style="list-style-type: none"> ①①本離れが今後更に進むと思われるので、新たな取り組みを検討する必要がある。 ①①本が好きな生徒は、たくさん読んでいる印象。図書館で借りずに電子書籍で読む子も多いかもしれない。 ①①アンケートでも評価が低い。工夫した取り組みが望まれる。 	引き続き、生徒や保護者に情報提供していきたい。	
		③ 大学・企業・研究所研修、インターンシップ等のキャリア教育行事に満足している生徒が80%以上である。	A	A	A	コロナ禍で実施できなかった行事について、本来の形で実施できたものが増えてきた。			コロナ禍の影響が小さくなりつつあり、現地対面での活動を増やし、まずは本来の形態を取り戻したい。
		① 進路に関するLHRを各学年で年に10回以上実施し、80%以上の生徒が進路選択の参考になると認識している。	A	A	A	参考になる、やや参考になると答える生徒の合計は9割を超えている。			今年度の経験を活かして適切な時期に興味関心の高まる指導となるよう洗練していきたい。
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	11 生徒は自らの進路希望について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	① 早朝補習や長期休業中の補習授業が、進路希望の実現に役立っていると感じている生徒が80%以上である。	A	A	A	平常時補習の満足度が高い。長期休業中補習の補習もコロナ禍の影響も受けつつも概ね実施できた。	<ul style="list-style-type: none"> ②①①本離れが今後更に進むと思われるので、新たな取り組みを検討する必要がある。 ②①①本が好きな生徒は、たくさん読んでいる印象。図書館で借りずに電子書籍で読む子も多いかもしれない。 ②①①アンケートでも評価が低い。工夫した取り組みが望まれる。 	コロナ禍の影響が小さくなりつつあり、本来の形態に戻していきたい。	
		② 夏季休業中の学習合宿に参加した生徒のうち、学習合宿が進路希望の実現に役立っていると感じている生徒が90%以上である。	A	A	A	参加した生徒の満足度は極めて高い。今年度は3年ぶりの実施だった。2・3年を実施対象とした。			4年ぶりに全学年で学習合宿を実施したい。参加可能人数の設定を考えていきたい。
		③ 生徒のより高い進路目標の実現を目指し、生徒の大学合格率が80%以上、大学進学率が70%以上である。	未			学校推薦型選抜の出願がやや少なかった。一般選抜に向けてしっかりと実力養成に粘れる生徒が多かった。			生徒がより高い目標を堅持できるよう力添えしていきたい。
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	12 家庭、地域社会に積極的な情報発信をしていますか。	① 「前高Web page」の内容について、満足している保護者が90%以上である。	A	A	A	Webページの更新と前高通信の発行をできる限りタイムリーな形で発信することを心がけた。	<ul style="list-style-type: none"> ②前高通信はHPで公表されており、今後の受験生などへの発信にもなり良いと思う。PDFにしたことにより、より見やすくなった。 	学校説明会の工夫など、前橋高校の魅力を中学生に伝えられるような情報発信の改善を今後も進める。	
		② 学校通信「前高通信」などによる学校からの情報提供に満足している生徒・保護者が90%以上である。	A	A	A	今年度「前高通信」は5号発刊した。学年通信も各学年で定期的に発行するなど、保護者に学校の様子を伝えた。			今後も保護者にタイムリーな情報を発信していく。
VI 学校における生徒の健康・安全に努めていますか。	13 家庭、地域社会の教育力を活用していますか。	① 保護者や地域社会の人を講師とした講演会などを年に2回以上実施している。	A	A	A	科学探究にPTAから講師を迎えた。	<ul style="list-style-type: none"> ①生徒向けの講演会を動画配信で保護者も視聴できると、体験共有になっていいと思う。 	科学探究だけでなく、土曜ALなどでPTA・同窓会・周辺住民に声をかけたい。	
		② 安心・安全な自転車利用のためには、自転車保険の加入やヘルメット着用が必要であると自覚している生徒が90%以上である。	A	A	A	交通安全教室の形態・指導内容等を前橋高校の現状に合ったものになるように工夫すると共に生徒会役員や風紀委員会を中心に自発的活動を促す。			交通安全教室や下校指導を行い、被害者・加害者にならない取組を行うことができた。また、自転車ルールの徹底を指導していく。
		① 規範意識と危険回避能力を高める指導を行い、自転車事故15件以下を目指して指導する。	B	B	B	交通安全教室の形態・指導内容等を前橋高校の現状に合ったものになるように工夫すると共に生徒会役員や風紀委員会を中心に自発的活動を促す。			自発的なヘルメット着用に向け、駐輪場での声かけ指導を行うと共に、自転車ヘルメットの重要性を理解する取組を生徒会本部役員と連携して行う。
VII 教育のデジタル化に努めていますか。	14 環境面で生徒の安全が確保されていますか。	① 災害発生時に適切な行動をとることができると自覚している生徒が90%以上である。	A	A	A	年2回の避難訓練に加え、1階の教室を使用している1年生には、水害時の垂直避難を実施し、本校の実情に合わせた訓練を行った。	<ul style="list-style-type: none"> ①目標を達成できているので、引き続き充実した取組を行っていただきたいと思います。 	生徒が卒業後に移動した先でも、災害発生時に適切な行動がとれるよう意識付けを行いたい。	
		② 保健面で安心感があると、80%以上の生徒が回答している。	A	A	A	保健だより等を使い、感染症対策について生徒に周知できるよう努めてきた。保健委員会や環境整備委員会と協力しながら設備の衛生面も強化してきた。			国や県からの指導に対して素早く適切に対応できるように、管理職や保健部で協力していきたい。
VII 教育のデジタル化に努めていますか。	15 保健面で生徒の健康が確保されていますか。	① 授業等でICTを活用した指導を行っている教員が80%以上である。	A	A	A	クロームブックなどを授業だけでなく、各活動の調査などにも利用してきた。	<ul style="list-style-type: none"> ①今後、コロナ感染症が感染症法5類になった場合の対策については、県とよく協議し対策を取ってほしい。 	今後授業をはじめ、さまざまな場面でICTの有効活用を図りたい。	
		① ICTを活用することで、分掌業務等の改善を進めている教員が80%以上である。	A	A	A	各種調査や連絡等でICTの活用がさらに進められた。			ICTの活用により、今後も業務の負担を改善したい。